

時事新報定價
 時事新報は毎號八面乃至十二面にして詳細なる商況物價の報告あり其代價運送料は左の如し
 一號 貳錢五厘〇一ヶ月 前金五拾錢〇三ヶ月 前金壹圓四拾五錢〇六ヶ月 前金貳圓八拾五錢〇一年 前金五圓六拾錢〇月曜日休刊(此他大祭祝日等始末等一切休刊セズ)

時事新報送送料

- 一 日本國內並に朝鮮京城、仁川、釜山、元山、津浦、一ヶ月 金拾三錢
- 二 南亞米利加、中央亞米利加、布哇、薩摩、米國若くは加奈陀を経て郵送する歐洲各國 一ヶ月 金六拾錢
- 三 北米合衆國、英領加奈陀 一ヶ月 金三拾錢
- 四 香港を経て郵送する亞細亞諸港、太平洋諸島、濠洲 一ヶ月 金六拾五錢
- 五 露領滿洲、清國諸港 一ヶ月 金三拾五錢

時事新報廣告(附定)

一行五號字廿四號 一日以上七日以上 付十三錢 一月以上 付二十五錢

本社(寄稿)に付

東京府下を始め各府縣に通信社なるものありて是より各新聞社に報道を發送し各新聞社は之を受けて紙面を擴張するより各社同一の記事を掲ぐるを以て寡からず獨り時事新報社に社員並に通信員を多きものとす。然るに通信社に依りて報道すれば本社にも其報道は達する事と信する方多きが如し爲めに進行を阻むる事ある場合も寡からざれば本社に記事論説を寄稿せんとする方は直接に本社に何れ發送せらるるものとす。

時事新報

果して満足す可きや

否や

政府の可し民力休養せざる可らずとて所謂民黨が政府に對する攻撃の口實なりしに近來政府は之に逆みと爲さず政費削減は既に調査に着手して近々發表す可しと云ひ民力休養の一事も斷行に意あるもの如し抑も政府が斯くまで歩を譲りて民意を容るるに急なるは多數の人民を満足せしめて其熱心を得んとするが爲めならん多數の人民果して之に満足して其處置に感服すれば政府の人民を満足する可し甚だ妙なればも多數の人民は即ち多數にして其意見も亦區々ならざるを得ず一方に感服するものもあれば一方に反對するものもあるのみならず從來世間には政治の局外に獨立し眼中政府を見ずして國の爲めに盡さんとする士人も少なからずして是等の士人中には或は政府の舉動を見て痛に不滿を懐くものもあるや亦爾る可らず左れば多數の人民の心を獲得の一事は容易ならずとて姑く擱き直接に政治の局面に當る代議士輩の意向は如何なる可きやと云ふに本報代議士は民意を代表するものなり故に代表せざる可らざるものなりと雖も今日の實際に於ては必ずしも然らずして或は反對の事實を見るも必ずしも非ざるも實際は自から別問題として扱ふべき意向は如何と云ふに現に角に政府は民論に従ふたるが故に代議士も平生の希望を達したる譯にして義理に於ても議論は有る可らず政府は能く民意を容れたりと

て表面には必ず満足す可きと表するもならん政府の策中るに似たれども事の裏面に入て其實を視察すれば其満足は即ち表面に於て然るのみ中心の満足にあらざるを發見するに足る可し抑も其熱心の口實にして思ふ所に異なり政費民力云々は單に攻撃の口實にして目的は政府の地位に在り即ち取て代はるに非ざれば到底満足せざるものなれば今日の事情の目的を達するに尙ほ未可なるは未可自らも亦知らざるに非ず是に於てか眞實の目的は姑く心に蔽めて之を口にせず眞實ならざる種々の無理難題を求めて攻撃の口實を爲し政府を苦しめて以て滿腔の憤を瀦らさんとするに過ぎざるのみ誠は明白の事實なれば政府の大量よく民意を容れて其求に應ずるも一方に於て巧に民情を感ぬ其體を散せしむるの手段なき限りは遂に攻撃の煩はしきを免るの期は有る可らず竊に我輩の所見を以てすれば若しも政府の手段も止まりて之を以て議會の熱心を買ひ得たりと思ふもあらば大なる間違ひにして忽ちにして其思ひ違ひを發見するの時機到來せんものと恐るるものなり即ち來期の議會に於て民黨の輩が政府を苦しむるの口實を想像すれば一にして足らざればも取り敢へず既定議案出云々の議論なども一の難題なる可し聞く所に據れば政府は其問題に關して従前より主張したる方針を動かさざる自由の意見を執るもの如しと云ふ是れ又民意を容るるの一端ならんかなれば其費目の範圍に就ては從來議論も少なからざるものとせば政府の意見も多少にても動くときは民論は恰も之に乗じて例の如く付込み所謂既定自由の程度に關して唯し議論を見るのみならん是れは法律上の問題なればも政務の實際即ち改革の結果なぞに就ても充分議論を生ずるのみならず政府は約束に從て部内の改革を行ふたり改革を行ふて政費を削減したり然れども其結果は如何、政費削減とは本來無用の冗員を減じ無益の冗費を節するの意味なるに吾々の見る所には無用無益の冗員冗費は其儘にして却て有用有益の員費を省きたるは如何、或は益す可き處に減じて減す可き所に増したるは如何、或は其省減の事實は可なればも其方法の宜しきを得ざるは如何、政府の當局者は約束の當時に普通の知識あるものをして満足せしむるだけの改革は必ず實行す可しと誓ひたれども吾々の知識に於ては到底之に満足するを得ずとて改革の結果は一々難題を付するときは反對の口實決して少なきを思へず我輩の所見を以てすれば來期の議會に民黨の輩が政府を苦しむるの策は必ず此邊に出づるものとならん竊に想像するものなり右は頗る陰險の談にして我輩の語るを快しとせざる所なれば凡そ政治上の事は極めて陰險殺伐なるの常にして普通の考にては思ひ到らざる權謀術數を運らすの例少なからず其人の罪に非ず事の性質に於て然らざるを得ざるものあればなり左れば苟も其局に當るものは己れを知ると同時に彼を知るも亦必要にして若しも正直潔白の心より他も亦然る可しとして漫然に接するときは却て他に致さるるの慮なきを得ず今の政府の當局者を見れば其人物の正直潔白なるは感服の至なればも政海多事の局面に當り表裡陰陽共に振目なきを期するには單に正直潔白のみを以て能く爲す可らざるものあるが如し我輩の敢て一言する所以なり

雜報

○萬國貨幣會議委員の説 米國チエニス國立銀行の頭取にして去年自耳義に開會せし萬國貨幣會議(合衆國より委員として出張せしめしヘンリー・カン)氏は印度の幣制改革に付き説を爲して曰く印度が自由鑄造を中止したる爲め銀價は勿論下落すべけれども合衆國の貿易に直ちの影響を及ぼすとはなからべし米國人は東洋に於ける物價の下落に付て其身を慮するも是までの例にして銀價下落の損害を避くるに他國よりも容易き地位に在り最も此國に年々産出する銀塊は多額なればも其貨幣を所持するも最も多額なるは印度、東洋、佛國及びラテン同盟國等なり借又英國が今度印度を金本位とせんと計畫したるに付き利害如何を考ふるに通信の云ふ所を以てすれば磅金貨とルービーとの關係は恰も所謂ブランド法より生ぜし三十七グレイン半の佛貨と金の佛貨に於けるが如き關係なれば到底成功の見込あるべからず即ち英國は其本國と屬國印度の間に爲替を一定せしめんとするものなればも印度の人民と英國製造家の満足を得るも甚だ困難なるべし云々

○土鶴鐵道私設の計畫 京鶴鐵道私設の企てありしが反對論絶たらず土鶴鐵道も私設の計畫を爲すに至りしが此事に付き兵庫縣代議士高瀬次郎氏は去月以來神戸に於て協議を繰らせしが神戸は眼前に水道の大事業を控へ淡川堤防付換工事、兵庫運河の開鑿、小野濱築港、神戸港の大修理、兵庫、神戸の道路取換等市費若くは一己人又は協同團體の資本を要するものと多く到底土鶴鐵道私設に資本を下すの餘裕なしとて郡部が主動者となりて運動するの意見なりと

○増株の利益配當に就て 東京米商會所の改正定款に付ては過日中員勝氏が調査委員長として他の六名の委員と共に日々調査をなし居るよしなれば最早數日を出でずして調査の結了を告ぐるものとらんが其定款の上款に載する倉庫資本として更に十萬圓の増資本をなし都合二十萬圓の會社となす云々の一項に付ては過日米株主中に種々の議論もあるよし其次第は抑同所は先年中村頭取が在職の當時に消費したる金額の内十五萬圓前後の金額は同所蔵庫の際三井銀行に抵當となり居りたる傍券受出しの代價金として爾後年々會所利益金の二割を同行へ無期限に拂渡すものとすなり居れば今回十萬圓の増資本をなすに於ても該資本より産み出す利益の二割は矢張り三井銀行へ拂渡すべき見込なるか或は資本金十萬圓の當時に於て爲したる約定なるが故に増資本の十萬圓より産出す利益は全く株主の手に着つべきか當局者即改正定款起草者の精神は如何なる邊に存し又三井銀行は之れに對して如何なる考へを抱き居れるか若し是に約定したる二割の拂出し金が増資本の十萬圓に迄も附き廻る効力ありとせば假に十萬圓の利子を年五朱と見積るも其内一朱は三井銀行に拂はざるを得ず然らば他へ五朱にて預け得べき金を四朱にて預くるの割合なりとて増株沙汰は株主多數の望みなき操縦なれば若し増資本の十萬圓に對する利益に於ては三井銀行に配當せず單に株主のみに手に落ち来る算分堀も明白なる以上は増資本も敢て異存を執むるものなきよし去りながら倉庫は従前より附屬倉庫たりし米倉庫株式會社もあり各件買は同社の株主に

もれば倉庫新設の必
 分増資本に對しては
 花咲すべしと云ふも
○三保險會社の合
 ち居りし銅業保險と
 上保險及び過日米
 廢組の三社は今度合
 を設立するものと決
 會社は業務を海上部
 國と定め船泊、貨物
 保險を爲す等にて其
 設けたりと云ふ

○色織物の實況
 復し前年來作業
 の商況も大に活發
 入買高は去今
 季節色織物は夫々
 りしが一度米市場
 落し常に變動定ま
 爲め又物價は一般
 至れり今二三重要
 羅紗類 以元來品
 して以て營業者は
 三等の生地を見込
 香相場暴落の爲め
 途にして約條を見
 より破綻を申込
 フラチル は義に
 約條を結び置きし
 價は夫丈け高直と
 安直なれば勢ひ價
 して其約條を詳記
 三分、残り三分は
 買せんとするもの
 綱クット は目下多
 場は高直なりしを
 着相場漸次低落せ
 てか却て昨今望人
 となれり即並物一
 毛絲類 矢張同様の
 一オンスに付九十
 本物九十二錢極細
 之を要するに本年
 格は一割乃至一割
 割合に活潑にして
 内商中には爲替の
 受けたるより商館
 に迫られ居るもの
 ては内商中互の取引
 引ありて前途の見
○舞殿修繕の下
 にある舞殿は舞臺
 妻婦女が舞踏せし
 修繕を加へ来りし
 は床下屋根等にて
 年を過ぎば新に構
 七百餘年の建物を